

目黒吉久氏 只見町長に当選



▲当選証書を受け取る目黒吉久氏

任期満了に伴う只見町長選挙は、11月25日に投票が行われ、無所属で現職の目黒吉久氏（60）が当選しました。目黒氏は2期目となります。

（当） 1927

目黒吉久（60）

1902

菅家俊一（67）

▽町長選挙開票結果

（確定得票）

当選証書の付与は26日に、役場本庁で行われ、町選挙管理委員会の吉津五郎委員長から目黒氏に当選証書が手渡されました。任期は平成24年12月16日から平成28年12月15日までです。吉津委員長はあいさつで「まれにみる僅差ではありますが、結果が出た以上、すべての町民が力を合わせ将来に向かって輝かしい町政が執行されることを祈念します」と述べました。

目黒吉久町長の2期目の初登壇は12月17日の午前9時の予定です。

只見町チーム2年ぶりの力走

第24回ふくしま駅伝

11月18日に号砲が鳴り響いた、第24回ふくしま駅伝に只見町チームが昨年の豪雨災害を乗り越え、2年ぶりに出場しました。今回の成績は一昨年の総合46位から45位の6時間3分42秒でゴール、町の部でも一昨年の26位から25位と、いずれも順位アップの力走を見せました。競技は白河市総合運動公園陸上競技場から福島市の県庁前までの16区間、96・5キロメートルのコースで51チームの選手により健脚が競われました。只見ラン

ナーズが駅伝事務局となり参加している只見町チームは、ナンバーカード29、今年も中学生や高校生が中心の若さあふれるメンバー構成で大会に臨み、16人全選手が全力を振り絞り、町の代表として町民の皆さんを元気づける走りを見せました。福岡県から災害復旧作業の応援職員として4月より只見町役場に勤務された「小川浩一郎さん」に感想を聞きましたので紹介しま



小川 浩一郎 さん
（只見町役場）
第12区 7・0km

大会に関わった皆さん、お疲れ様でした。このような大会は福岡では開催されていないので、ちょっと過酷で、でも最高の思い出ができました。応援していただいた只見町の皆さん、本当にありがとうございました。



▲2年ぶりに参加した只見町チーム

只見線の早期復旧を願う...

只見線応援企画 「いいちい散歩」

昨年7月に発生した新潟・福島豪雨の影響で運行できなくなっているJR只見線の只見駅から会津川口駅（金山町）の間を歩く只見線応援イベント「いいちい散歩」が11月11日に行われ、町内外から約100人が参加しました。

参加者は、中間地点の会津大塩駅（金山町）を目指し、只見と会津川口の両駅からスタート、線路と並行している国道252号を晩秋の景色を眺めながらマイペースで歩きました。人影のない駅や列車の通らない線路を目にした参加者は改めて早期再開通への願いを強くしていました。ゴール地点の会津大塩駅近くにある大塩体育館では交流会も催され、奥会津ならではの秋のごちそうを堪能しました。



▲只見駅をスタートする参加者

風評被害を払拭、交流活動を強化 柏市と学校給食用コメを交換

ふるさと交流都市提携を結び交流事業を展開している千葉県柏市と只見町は、今年の秋に地元で収穫されたコシヒカリ60キロをお互いの学校給食で使用するコメとして11月7日に交換しました。

この事業は、福島原発事故の影響による農産物の風評被害を払拭することや、食育の推進、農家の生産意欲向上などを目的に交流事業の一環として、今年初めて行われたもので、交換セレモニーでは、目黒町長と山口秀治柏市教育委員会学校保健課長が目録や5キロ入りの米袋を交換しました。目黒町長は「これを機に交流が深まるよう期待したい。只見産米が安全でおいしいことを柏市にアピールしていくきっかけとした

い」と話し、山口学校保健課長は「このような活動を拡大していきたい。只見産米の安全性とおいしさを市民にアピールしていく。長く続けていきたい」と考えを述べました。

交換されたコシヒカリは11月19日の給食で出され、只見町は柏市のコメを、柏市は只見町のコメを、子どもたちがおいしく食べました。



▲新米のコシヒカリを交換する目黒町長(中央右)と山口学校保健課長(中央左)

目黒宇一さんに経済産業省所管 統計調査功労統計調査員感謝状

只見町統計調査員の目黒宇一さん(黒谷)に、経済産業省所管統計調査功労統計調査員感謝状が贈られました。

伝達式は、10月31日に役場本庁で行われ、目黒町長から目黒調査員へ感謝状が手渡されました。

目黒調査員は、昭和54年から平成21年の間に商業統計調査を8回、商工業実態基本調査と経済センサスを各1回調査され、統計調査の活動推進や完全実施に貢献されています。

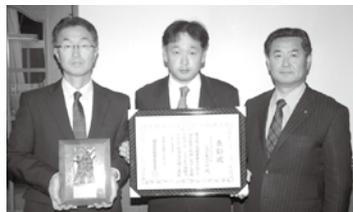


▲感謝状を手にする目黒宇一さん(中央)

只見小学校・父母と教師の会 福島県教育委員会から表彰

只見小学校の父母と教師の会(皆川淳会長)が福島県教育委員会から11月1日に表彰されました。

只見小学校の父母と教師の会では、児童・教職員・保護者が一丸となり、同校の花壇をはじめ各地域に整備されている花壇の世話をし、緑化と教育環境の美化を推進されました。昨年の取り組みでは、豪雨災害の影響で、夏の時期に思うような活動ができず、苦労しましたが、諦めずに花の世話を続け、最後まで彩り豊かな花壇が楽しめました。自然を愛し保護する心を養うこのような活動が高く評価され、社会教育の振興に貢献されたとして表彰されました。



▲表彰状を手にする皆川淳会長(中央)

只見町の産業振興に大きく貢献 株式会社ヒロタテクノの竣工式

株式会社ヒロタテクノ(山内宏二代表取締役)の新工場が杉沢地内に建設され、11月7日(同日場内で竣工式が行われました。式には目黒町長はじめ齋藤邦夫町議会議長や関係者が出席し、工場の完成を祝いました。

はじめに神事が執り行われ、山内代表取締役や目黒町長、齋藤町議会議長ら出席者全員が神殿に玉串を奉げ、安全な作業と工場の繁栄を祈願しました。その後、工場内の見学会が行われ、出席者は最新機器の稼働状況や製作された精密部品などの説明を受けました。

同工場は「ふくしま産業復興企業立地補助金」の対象企業に指定され、福島県、只見町、事業者で企業立地協定を結び設置されています。



▲新工場を見学する目黒町長(右から2人目)

つる植物の生態

11月11日に、ブナと川のミュージアムでブナセンター講座「つる植物の生態」が鈴木和次郎ブナセンター館長を講師に開かれ、12名が参加しました。



▲つる植物について説明する鈴木和次郎館長

▽つる植物とは…

自らの身体を支える支持組織を十分に発達させず支柱や樹木にとりつき成長する植物種群の総称で、草、木、栽培作物があります。種類は、巻きつき型、巻きひげ型、吸着型、寄りかかり型、複合型、絞め殺し植物などに分けられます。巻きつき型の場合、支持木に巻きつくことで成長し、幹回りの太い木には巻きつきません。また、つるの先端部で支持木を探すので、支持木が無くなったら成長できなくなります。被害としては樹幹にくいこみ締め付ける「くいこみ被害」や、樹冠部を覆って光合成を妨げる「覆い被害」があります。



▽講座の内容は…

参加者からのつるの伐りについての質問に対し、既に絡まっているつるを切るのは支持木に傷を付けるので、つるを木から取り外すことが重要と解説、また、森林の外側を覆うようにしてしげるつる植物は、直射日光をさえぎり、カーテンのように中の環境を一定に保つという説明もありました。つる植物の種類は、熱帯地方ほど多く、寒冷な地域になると少ないが、日本では特異的に南から北まで多くの種類が生育し、天然林ほど多種になるとのことです。

参加者からは、つる植物の生態を詳細に分かりやすく学ぶことができ良かったとの声が聞かれました。ブナセンターでは今後も講座を開いていきます。

自然観察会

秋のキノコ観察会

只見町ブナセンターでは身近なキノコに触れ合う「キノコ観察会」を10月28日に行いました。観察地は只見町青少年旅行村で、村内のキノコを採取し調べました。この日は、朝から小雨が降り、肌寒い天候でしたが、旅行村に宿泊されていた方々の参加もあり17名でキノコを探しました。

ブナと川のミュージアムから旅行村へ移動する途中、ミュージアム近くの只見川公園に生えていた「ササクレヒトヨダケ」というキノコを観察しました。このキノコは白いささくれた布をすっぽり頭からかぶったお化けのような外見をしていて、遠目からは、よきよきと白い棒のようなものが生えているように見えます。そして、夜のうちに白かった本体は



▲ササクレヒトヨダケ

真っ黒なインクのように溶け、朝には裾がまくれ上がり、壊れたコウモリ傘のような姿になることから、この名前がつきました。

旅行村に到着すると、参加者は思い思いの場所でキノコを探し、30分ほどで様々なキノコを採取することができました。採取したキノコは、ミュージアムに持ち帰り、キノコに詳しい地元の方の指導や図鑑などを使いながら名前や特徴を調べました。なかには名前が不明なキノコもありましたが、名前が確認できたキノコは20種類ありました。参加者は採ったキノコを観察しながら、その種類の多さに自然の豊かさを感じていました。



上半期財政状況 お知らせ します

◆一般会計（歳入）

（単位：円、％）

款	款 名 称	予算額	収入済額	収入率
1	町 税	922,599,000	506,945,612	54.95
2	地方譲与税	69,000,000	20,145,087	29.20
3	利子割交付金	700,000	316,000	45.14
4	配当割交付金	200,000	105,000	52.50
5	株式等譲渡所得割交付金	1,000	0	0.00
6	地方消費税交付金	40,000,000	24,038,000	60.10
7	自動車取得税交付金	11,000,000	6,138,000	55.80
8	地方特例交付金	977,000	977,000	100.00
9	地方交付税	2,528,814,000	1,782,146,000	70.47
10	交通安全対策特別交付金	1,000,000	512,000	51.20
11	分担金及び負担金	23,972,000	11,236,406	46.87
12	使用料及び手数料	29,948,000	15,398,427	51.42
13	国庫支出金	627,283,000	35,147,865	5.60
14	県支出金	1,623,765,000	325,044,721	20.02
15	財産収入	21,650,000	14,897,511	68.81
16	寄附金	3,000	574,927	19,164
17	繰入金	580,648,000	33,000,000	5.68
18	繰越金	211,820,000	211,820,720	100.00
19	諸収入	66,076,000	58,784,607	88.97
20	町 債	558,900,000	0	0.00
	合 計	7,318,356,000	3,047,227,883	41.64

◆一般会計（歳出）

（単位：円、％）

款	款 名 称	予算額	支出済額	執行率
1	議 会 費	74,603,000	42,060,945	56.38
2	総 務 費	1,052,198,000	756,567,942	71.90
3	民 生 費	699,417,000	221,636,942	31.69
4	衛 生 費	599,671,000	213,447,157	35.59
5	労 働 費	13,000	0	0.00
6	農 林 水 産 業 費	590,442,000	105,306,369	17.84
7	商 工 費	582,887,000	187,656,276	32.19
8	土 木 費	455,413,000	141,243,354	31.01
9	消 防 費	211,425,000	181,509,808	85.85
10	教 育 費	358,202,000	207,676,387	57.98
11	災 害 復 旧 費	1,963,581,000	690,733,093	35.18
12	公 債 費	656,566,000	223,239,078	34.00
13	予 備 費	73,938,000	0	0.00
	合 計	7,318,356,000	2,971,077,351	40.60

◆特別会計

（単位：円、％）

会計名	予算額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入率	支出済額	執行率	
1 国民健康保険事業	569,044,000	234,971,958	41.29	354,367,917	62.27	
2 国民健康保険施設	456,115,000	111,902,479	24.53	210,751,940	46.21	
3 後期高齢者医療	128,189,000	13,403,800	10.46	84,636,290	66.02	
4 介護保険事業	577,916,000	266,185,652	46.06	268,902,584	46.53	
5 介護老人保健施設	243,328,000	78,804,540	32.39	218,956,901	89.98	
6 訪問看護ステーション	21,000,000	3,418,997	16.28	10,769,523	51.28	
7 地域包括支援センター	10,000,000	837,160	8.37	5,032,148	50.32	
8 簡易水道	305,103,000	32,160,530	10.54	68,237,095	22.37	
9 観光施設事業	85,000,000	0	0.00	28,832,838	33.92	
10 交流施設	98,080,000	0	0.00	93,509,064	95.34	
11 集落排水事業	502,187,000	45,345,990	9.03	184,096,677	36.66	
12 朝日財産区	10,400,000	10,270,355	98.75	117,500	1.13	
	合 計	3,006,362,000	797,301,461	26.52	1,528,210,477	50.83

町の財政事情がどのような状況にあるのかを理解していただくために、平成24年度上半期（4月1日～9月30日）の予算の執行状況をお知らせします。

平成24年度一般会計当初予算は、現年度予算58億4,500万円です。スタートしましたが、4回の補正で73億1,835万6千円になりました。この他に前年度から繰り越した予算が7億8,289万4千円ありますので、総額81億1,255万円となっています。

歳入のうち地方交付税を平成23年度と比較してみますと、普通交付税（7月に交付額算定）が24億2,881万4千円となり、前年度対比1億9,086万円の増となっております。特別交付税（平成25年3月に交付額決定）については、例年度並みの交付を見込んでおります。

（※地方交付税は、「普通交付税」と「特別交付税」の2種類に分かれています。）

主な事業内容は、役場庁舎新築事業Ⅱ2,973万円、ユネスコエコパーク検討事業Ⅱ71

3万円、只見地区センターアスベスト除去事業Ⅱ6,365万円、災害救助事業Ⅱ5,635万円、南会津地方環境衛生組合負担金Ⅱ1億3,068万円、中山間地域等直接支払事業Ⅱ2,069万円、広域圏消防費負担金Ⅱ1億4,191万円、克雪対策事業補助金Ⅱ2,000万円、定住促進等住宅整備事業Ⅱ7,722万円、集会所施設

整備事業Ⅱ1,982万円、黒谷館跡発掘調査事業Ⅱ2,089万円、災害復旧事業Ⅱ19億6,358万円などです。

歳入の収入済額は9月までに実際に収入となった金額で、歳出の支出済額は実際に支出した金額です。

これは、只見町財政状況等の公表に関する条例による公表です。